

センター活用事例 [case1]

パティスリー白川 <http://patisserie-shirakawa.com>

秋田県にかほ市象潟町字二丁目塩越21
Tel. 0184-43-3352
[営業時間] 9:00~18:30 [定休日] 月曜日

象潟駅から車で約3分の場所にある。オリジナルのバスデーケーキやウェディングケーキも好評。



センター活用事例 [case2]

Happiness&Emotion <https://www.facebook.com/hapinessemotion/posts/425078471010923>

仙北市田沢湖生保内字武蔵野105-414
Tel. 090-7324-2944 E-mail/passion399320@gmail.com
[事業内容] 仙北市観光ガイド(乳頭温泉郷、抱返り溪谷、田沢湖等)、接客・接遇・コミュニケーション等セミナー講師、イベント企画・司会

代表の草薙さん。「デザインや戦略をはじめ、いろいろな気軽に相談できるので助かります」と話す。



パティスリー白川

パッケージデザイン、レイアウトなど、商品を育てるには「見せ方」も重要。相談を重ねて、リニューアルに挑戦。

地域密着の菓子店

江戸時代、この地を訪れた松尾芭蕉が歩いたという街道沿いに立つ「パティスリー白川」。店内には手作りの和菓子と洋菓子が所狭しと並んでいる。創業は明治20年。菓子舗「白川湖月堂」として歴史を刻み、平成22年に洋菓子を中心とした店にリニューアル。「パティスリー白川」と改称した。名物は、普通のシュークリームのおよそ3倍の大きさがある「山シュー」。鳥海山をモチーフにしている。ロングセラーは、芭蕉の句にちなんだ、アーモンドたっぷりの焼き菓子「ねむのはな」。また最近では、地元特産の魚醤「鱈しょっつる」を隠し味に使ったどら焼き「たらどら」が人気を呼んでいる。これらのネーミングが表すように、地元の風物や素材を取り入れた商品作りに力を入れている。

鳥海山の伏流水をゼリーに

パティシエとして腕を振るう代表の高橋徹さんは4代目。「地元・象潟や近隣地域には、素晴らしい素材がたくさんある。それを使って、この土地ならではの菓子を作りたい」と話す。夏は、鳥海山に染み込んだ水が湧き出す元滝伏流水を使ったゼリー「鳥海のしずく」シリーズを季節限定で販売。シェフ自ら早朝6時に水を汲みに行き製造する。にかほ市産のイチジク、由利本荘市産のリンゴや木イチゴ、横手市産のブドウなど、県内産の果物をふんだんに使った8種の味がそろっている。これまでパッケージはお手製だったが、今後の方向性や売り方を含めて「見せ方」をどうするべきか悩んでいた。

“よろず”の窓口をさまざま利用

そこで、「たらどら」のパッケージデザインで相談実績のある「よろず支援拠点」に再びアドバイスを求めた。現在、サンプルの試作を重ね、リニューアルを進めている。「お客様が買いやすく、食べやすいパッケージに変え、夏と言えば「パティスリー白川のゼリー」と、パッと思い浮かべていただける商品に育てたい」と高橋さん。活性化センターについては「単にデザインの事だけでなく、新たな食材や生産者を紹介してもらい、商品開発の面でもお世話になっている」と話す。他にも、県内各地に相談員が向かうワンストップ移動相談を利用。また、ものづくり補助金の採択を受けて、オープンやシーラーを導入するなど、販売促進、経営強化に積極的に取り組んでいる。

熱心な指導を得て、目標・課題が明確化



Happiness&Emotion

コーディネーターが1対1でアドバイス「ビジネス講座・相談」がスタート。

経営力強化を応援

企業の「やる気、能力、可能性」を最大限に引き出すため、秋田県よろず支援拠点のコーディネーターが得意分野を1対1で指導する「ビジネス講座・相談」。初回の5月は、グラフィックデザイナーの小野由紀子コーディネーターによる「デザイン活用講座」を開催した。5月25日の相談者は、仙北市の「Happiness&Emotion」代表、草薙幸子さん。地元の観光やトレーニングのガイド、接客やコミュニケーションのセミナー講師として活躍するスキルを生かし、ビジネスを展開しようと昨年起業。10月からよろず支援拠点を利用し、販促や事業PRのためのパンフレット制作などの相談を重ねてきた。今回は、販促の方向性の確認と今後の戦略についてアドバイスを受けた。

毎回大きな収穫あり

「よろず支援拠点には、これまで何度も相談に訪れ、販促のことやパンフレットなどのツール制作、事業コンセプトのことなど様々なアドバイスをいただけてきました。正直なところ、これほどまで熱心に企業のことを考え、支援してくれる機関があったとは…と驚いています。今まで知らずにいたことが残念です」と、率直な感想を語る。さらに、「ご指導は毎回刺激的です。相談に乗っていただくことで漠然としたものがクリアになり、新たなアイデアや目標が浮かんでいきます。お陰様でこれからの課題・目標を明確にすることができました。さっそく実行に移し、販促に繋げていきたいと思っています」と、やる気満々。今後は積極展開の構えだ。

12月まで順次開催

講座では企業のイメージアップ、技術力のアップ、デザインの活用方法などのレクチャーの後、現状や悩みを聞き、支援事例を交えながらアドバイスをを行った。今後は、事業計画活用(7月)、人事管理活用(8月)、原価管理活用(9月)、マーケティング活用(10月)、IT/WEB活用(11月)、支援機関活用の講座(12月)を毎月開催予定。参加は無料で事前申し込みが必要。(詳細については、8ページを参照)



A 試作として新パッケージのデザイン案を仮貼りした「鳥海のしずく」。滅菌処理により賞味期限が60日と長く、ギフトにも最適な商品だ。
B 名物「山シュー」は、注文を受けてからクリームを詰める。

事業概要 秋田県よろず支援拠点

秋田県内の中小企業・小規模事業者のための経営相談所として、売上拡大、経営改善など経営上のあらゆるお悩みの相談に対応します。コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

お問い合わせ あきた企業活性化センター 秋田県よろず支援拠点
TEL 018-860-5605



A 販売・商品開発戦略、売上拡大、デザインを得意とする小野由紀子コーディネーター。
B 小野コーディネーターのアドバイスのもと、営業ツールとして作成したHappiness&Emotionパンフレット。

事業概要 ビジネス講座・相談

貴社の「やる気、能力、可能性」を最大限に引き出すために、秋田県よろず支援拠点のコーディネーターが、1対1で指導いたします。

お問い合わせ あきた企業活性化センター 秋田県よろず支援拠点
TEL 018-860-5605